

2013年8月23日

非血縁者間骨髄移植・採取認定施設
移植認定診療科連絡責任医師 各位

(公財) 骨髄移植推進財団
医療委員会

血液成分分離装置用回路BMPセットから骨髄液が漏出した事例について（第一報）

この度、血液成分分離装置用回路BMPセットから骨髄液が漏出した事例が報告されましたので、情報提供いたします。詳細については、別紙をご参照ください。なお、追加情報が入り次第、情報提供いたします。

※なお、当該患者さんにおかれましては、無事に移植を終えられ、移植直後は明らかな感染症もなく経過し、先日、生着が確認されました。

(財団ホームページの「医師の方へ」の「患者主治医の方へ」の「医師宛通知文」でもご確認いただけます。)

以上

以下は移植施設からの報告です。(全文掲載)

2013年7月、採取施設にて骨髓採取施行後、当院へ運搬しました。B型のドナーからO型の患者への major mismatch に対して赤血球除去の処理を開始しました。その際、①血液成分分離装置用回路BMP セット (カタログNo REF : 70630) を使用、キットの一部から骨髓液の漏出を認めました。このため、骨髓液5ml程度の漏出および汚染が生じています。これに対し、速やかに回路内の単核球の回収を行うとともに、別回路へ骨髓液を移行しました。その後、回収した骨髓液に対し赤血球除去を行っています。また、また、骨髓液の漏出を認めたキットについても行ってはいたのですが、別回路についてもACD液を満たした際にキットからの液の漏出がないことを確認しています。

骨髓液汚染に対しては、移植施行日よりセフェピム及びバンコマイシンの投与を開始と致しました。

細胞数の変化

採取時の cell count : $2.28 \times 10^8 / \text{kg}$

当院で赤血球除去施行目的に①に移行時 (処理前) の cell count : 1.65×10^{10}

回収後の別回路での cell count : 1.65×10^{10}

となっております。その後無事にmajor処理を行い移植施行しております。

